

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】令和5年12月5日(2023.12.5)

【国際公開番号】WO2022/191244

【出願番号】特願2023-505611(P2023-505611)

【国際特許分類】

G 0 1 N 33/50(2006.01)

G 0 1 N 27/62(2021.01)

G 0 1 N 33/53(2006.01)

C 1 2 Q 1/6876(2018.01)

C 1 2 Q 1/34(2006.01)

10

【F I】

G 0 1 N 33/50 P

G 0 1 N 27/62 V

G 0 1 N 33/53 M

C 1 2 Q 1/6876 Z

C 1 2 Q 1/34

【手続補正書】

20

【提出日】令和5年9月4日(2023.9.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

【図1】左図は6-スレオニルカルバモイルアデノシン(t^6A)の構造を示し、右図は2-チオメチル, 6-スレオニルカルバモイルアデノシン(ms^2t^6A)の構造を示している。

30

【図2】SARS-CoV2に感染させたACE2過剰発現HEK293細胞のRNA中の修飾ヌクレオシドを解析した結果である。

【図3】左図は血清中の t^6A 量(血清アデノシン補正後)を示し、右図は血清中の ms^2t^6A 量(血清アデノシン補正後)を示す。

【図4】COVID-19患者とその他発熱患者の尿中 t^6A 量(尿中 acp^3U 補正後)の比較結果を示す。

【図5】 acp^3U で補正した t^6A 量のROC曲線を示している。

【図6】COVID-19患者とその他発熱患者の尿中 ms^2t^6A 量(尿中 acp^3U 補正後)の比較結果を示す。

【図7】 acp^3U で補正した ms^2t^6A 量のROC曲線を示している。

40

【図8】COVID-19感染患者と健常人における修飾核酸(t^6A および ms^2t^6A)の検出の比較結果を示す。但し、内部標準を用いた補正は行わなかった。データは平均値 \pm SEMを表す。*は、 $P < 0.05$ 、**は、 $P < 0.01$ 、***は、 $P < 0.001$ である。

【図9】COVID-19感染患者と健常人における修飾核酸(t^6A および ms^2t^6A)の検出における、対象試料の比較結果を示す。尿試料は acp^3U 補正を行い、血清試料はアデノシン補正を行った。データは平均値 \pm SEMを表し、ポイントは個々の対象を示す。****は、 $P < 0.0001$ 。

【図10】COVID-19感染の無症状・軽症患者と重症患者における修飾核酸(t^6A および ms^2t^6A)の検出の比較結果を示す。

50

【図11】COVID-19感染患者の入院時の修飾核酸 (m s² t⁶ A) の検出結果と、患者のその後の病態の変化を示した結果である。データは平均値 ± S E Mを表す。*は、P < 0 . 0 0 3 5。

【手続補正2】

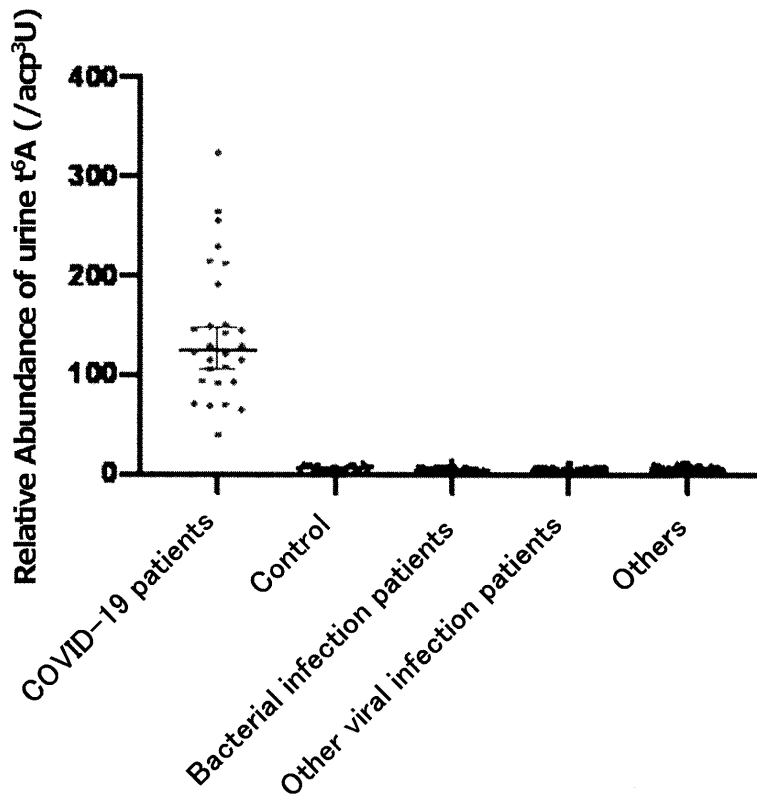
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図4】



10

20

30

【手続補正3】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図6

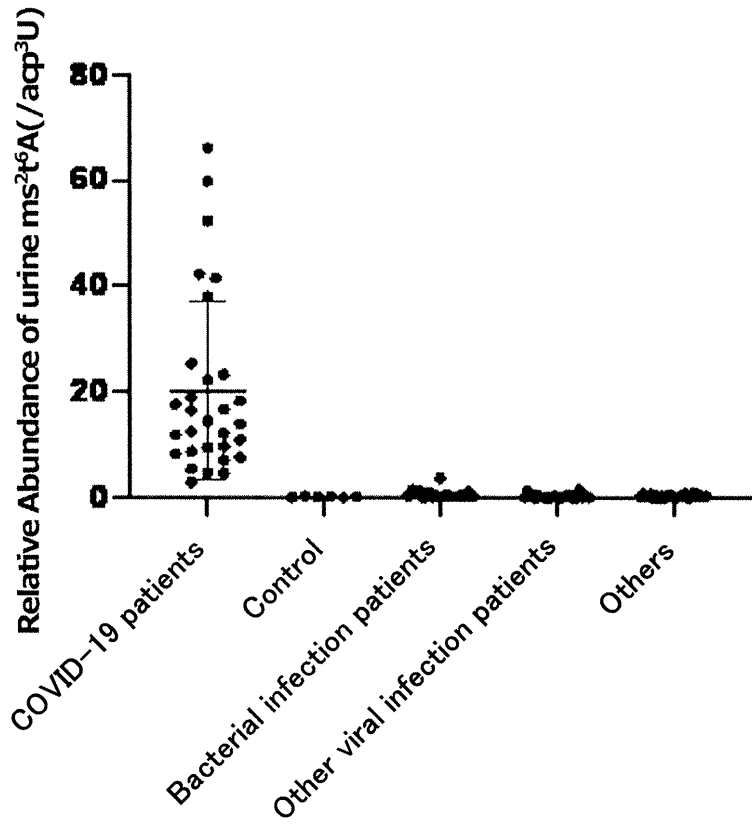
【補正方法】変更

【補正の内容】

40

50

【 図 6 】



10

20

【 手続補正 4 】

【 補正対象書類名 】 図面

【 補正対象項目名 】 図 8

【 補正方法 】 変更

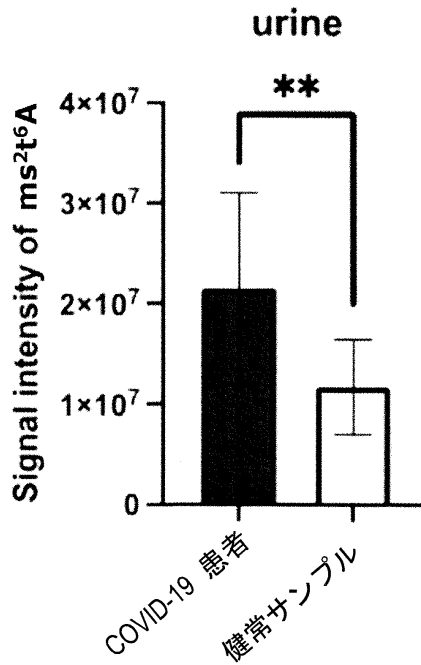
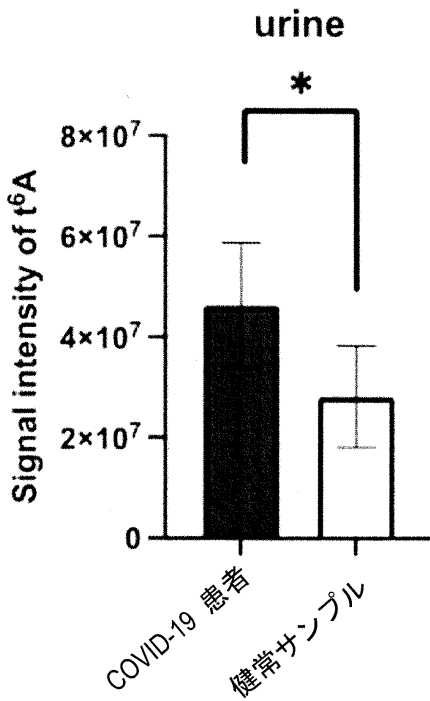
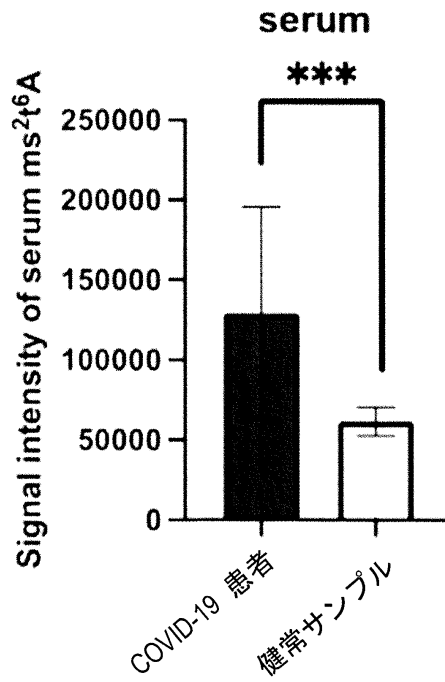
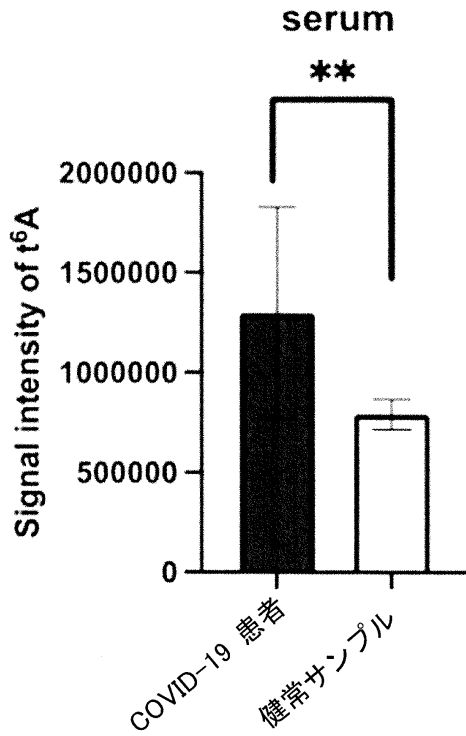
【 補正の内容 】

30

40

50

【 図 8 】



【 手続補正 5 】
 【 補正対象書類名 】 図面
 【 補正対象項目名 】 図 1 0
 【 補正方法 】 変更
 【 補正の内容 】

10

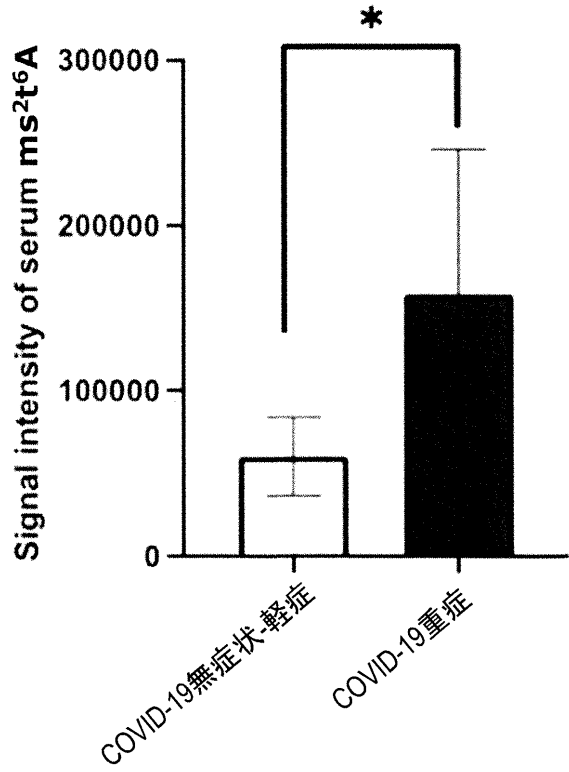
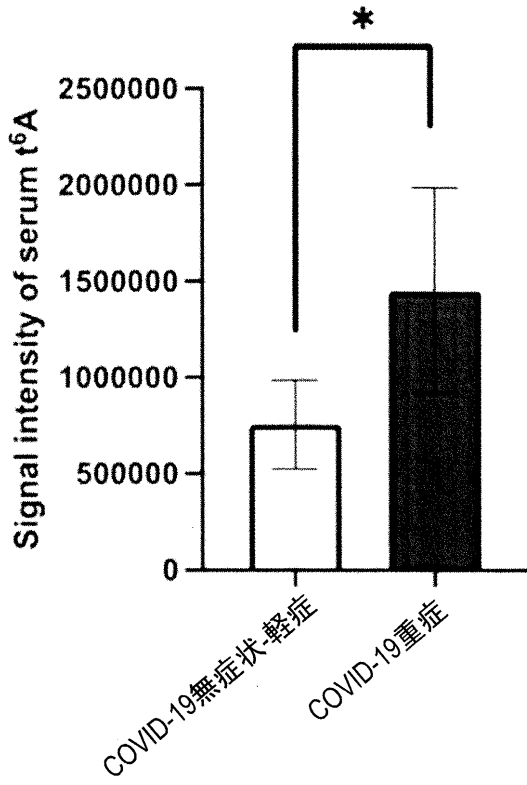
20

30

40

50

【 図 1 0 】



10

20

30

40

50